

JCI SENDAI 2022 IMPACT BOOK



開会挨拶
理事長 八重樫 司 君

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
会員開発特別委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
会員開発特別委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
会員開発特別委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
会員開発特別委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

卒業生代表
寺崎 修平 君

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度
例会委員会

理事長バッジ
引き継ぎ

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

SENDAI SDGs Week 2022

公益社団法人 仙台青年会議所 2022年度 挨拶

第71代 理事長 八重樫 司



2022年の総括

平素より当青年会議所の活動に対し、格別のご高配を賜っておりますことに心から厚く御礼申し上げます。

本年度は、「Carry Out!～志高く仙台(まち)の未来を切り拓こう～」をスローガンに掲げ、コロナ禍でなかなか実現できなかった様々な事業を実行させていただきました。

第53回仙台七夕花火祭では3年ぶりに有観客で開催させていただき、関係各所の皆様からのご支援、ご協力のお陰をもちまして、無事に1万6,000発の花火を打ち上げることができました。また、9月には初開催となる「SENDAI SDGs Week 2022～未来を考える一週間～」を8日間に渡って開催させていただき、SDGsを通して市民の皆様が未来を考える一歩を踏み出すきっかけとなっていましたら幸いです。そして、仙台のこれからの考える若者が地域課題の解決に向けて実行したSendai Future Generations事業や1,000名を超える方々に参加していただいた子どもの志を立てるCarry Out The Dream事業などを多くの方々のお力添えをいただき開催することができました。ご協力いただきました全ての皆様へ改めて心からの御礼を申し上げます。

私たち、仙台青年会議所は25歳から40歳までのメンバーが所属し、毎年様々な運動を展開しております。本年度は50名を超える新たな仲間を迎え入れ、200名を超える組織となりました。これからも、私たちが住み暮らすこの仙台の未来のためにメンバー一丸となって活動して参りますので、引き続きのご支援、ご協力を何卒お願い申し上げます。

改めて2022年度の活動に対し、ご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

本当に一年間お世話になりました。ありがとうございました。



LOM VISION

LOM VISION

LOM中期ビジョン2026

はじめに

仙台青年会議所(以下、JCI仙台)は、1951年の創立以来、地域が抱えている課題の解決に向けて、未来を見据えた地域運動に取り組んでおり、近年では、2011年に発災した東日本大震災からの復興・復旧に向けた市民運動を展開してまいりました。変化が激しく不確実性の高い時代を迎える中、私たちは、あらためて原点に立ち返るとともに、青年会議所運動の本質と方向性を明確に示し、しあわせを共感できる仙台の実現に向けた運動をより推進していく必要があります。

JCI仙台では、「市民」「まち」「組織」3本の柱からなる行動指針「LOM中期ビジョン2026」のもと、会員はもちろん、事業協力を賜っている関係各所との協働により「しあわせを共感できる仙台の実現」を目指す中で、社会課題の解決に向けて私たちの役割を果たすとともに、青年会議所の有する独自性とスケールメリットを活かし、私たちだからこそできる地域発展の礎を築いてまいります。

LOM中期ビジョン2026

恒久的な世界平和

明るい豊かな社会

LOMの目的

- ①地域社会の発展
- ②会員の連携と指導力の啓発
- ③国際的理解を深め国家及び世界の繁栄と平和への寄与

しあわせを共感できる仙台の実現

STATEMENT

私たちJCI仙台は、

『市民の意識改革と行動変革』を基軸とし、

地域社会の課題解決に先駆けて

取り組む青年リーダーとして、

地域愛に溢れ、協働する市民と共に、

子どもたちの明るい未来と

世界に誇れるまちづくりを推進し、

地域・市民に愛され、

世界に愛される仙台を創造します。



JCI仙台が描く「市民」の未来像

地域発展

自らが住み暮らす地域への
関心を持ち
『まちを愛し、誇りに思う市民』

地域課題の解決に向けて
『率先し主体的な行動を
起こせる市民』

まちの持続的発展に向けて
『多様性を尊重し、協議する市民』

青少年育成

他者への愛情と思いやりを持つ
『人間力豊かな子どもたち』

実社会を生きる経験から
『未来を描き行動できる
次代の子どもたち』

次への責任のもと
『子どもたちの成長に真摯に
向き合い行動する市民』

国際

世界中の方々との共生に向けて
『多様性と相互理解を尊重する市民』

国際に対する積極的な
関わりを持ち
『地域の国際化を牽引する市民』

まちのアイデンティティを認識し
『民間外交の担い手となり
行動する市民』

JCI仙台が描く「まち」の未来像

地域発展

独自性溢れる歴史・文化が息づき
『市民の地域愛が溢れるまち』

市民意識や行動変革から
『豊かな未来に向けた市民運動が
活性するまち』

多様な価値観の集結から
『新たな地域資源や新たな価値が
創出されるまち』

青少年育成

個の尊重から、お互いに支え合う
『愛情豊かで思いやり溢れるまち』

地域社会に対する認識と
関心の高揚から
『未来への夢や希望に溢れるまち』

『子どもたちの豊かな心の
成長に対し、
地域一体で取り組むまち』

国際

国際都市としての基盤が整備され
『諸外国の方々の往来で賑わうまち』

国際交流が溶け込み
『諸外国の方々と市民との交流が
活性するまち』

アイデンティティの確立から
『自主的な民間外交が
推進されるまち』

JCI仙台のあるべき「組織」像

組織形成

JAYCEE・JC

『地域の課題解決に対し
使命感を持つ人材が結集する組織』

『組織理念に共感する会員が
生き生きと活躍する組織』

先進的な機会を提供し
『地域の未来を切り拓く青年リーダーを育む組織』

多様な経験を持つ会員の連携から
『地域社会により良い好循環を生む組織』

国際

国際組織としてのネットワークと
スケールメリットを活かし
『会員に対し、国際の機会を提供する組織』
『世界で活躍する青年リーダーを育成する組織』

運動

JAYCEE・JC

多様な主体との連携から
『地域協働による持続可能な地域発展を成す組織』

市民意識の高揚を促し
『市民協議による持続可能な地域発展を成す組織』

まちの持続的発展に向けて
『次代を担う地域リーダーを育む組織』

まちの持続的発展に向けて
『地域に新たな価値を付与し続ける組織』

国際

国際組織としてのネットワークと
スケールメリットを活かし、
『世界とまちを結び付け、国際の機会を創出する組織』
『まちの国際化を牽引する組織』

Report 01

事務所開き・表敬訪問のご報告

1/5



1月5日、事務所開きを事務局にて執り行いました。また、村井県知事、郡市長、仙台商工会議所鎌田会頭へ表敬訪問をいたしました。

Report 02

どんと祭・裸参り 開催のご報告

1/14



1月14日、宮城県の小正月に行われる伝統ある火祭り「どんと祭」が大崎八幡宮で開催され「裸参り」へ参加しました。仙台青年会議所は仙台の未来を担う青年経済人として地元と密着し、地域を愛する心で1984年から「裸参り」へ参加し、本年で37年目となりました。



Report 03

第1回例会(新年式典) 開催のご報告

1/27



1月27日、2022年度第1回例会(新年式典)を開催いたしました。

本来であれば対内外の関係者の方々をお呼びした新年式典の開催を予定しておりましたが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み現役メンバーのみで開催しました。

新年式典では、理事長所信の動画の視聴、八重樫理事長から各組織体に向けたメッセージ、クロージングアクトとして、宮城県出身のアーティストさとうたけし氏に、2022年の理事長所信を具現化するとともに、未来に向けて歩みを進める仙台(まち)の姿を作品として作っていただきました。

理想とする仙台(まち)をイメージしながら運動を展開する契機としました。



Report 04

2022年度 第1回通常総会 開催のご報告

2/28



2月28日、第1回通常総会を開催いたしました。

第1回通常総会では、2021年度事業報告並びに会計報告・会計監査報告、2022年度の出向者などが審議され、満場一致にて可決承認されました。

また、報告事項として、2022年度事業計画並びに予算について報告がなされました。



Report 05

第2回例会(2月公開例会) 開催のご報告

2/28



2月28日、第2回例会(2月公開例会)「選ばれるための戦略～共創×ブランディング～」を開催しました。

第1部では、2代目バチエラーの小柳津林太郎氏より、「バチエラーから学ぶ! 共創×ブランディング」と題して、他者と協働して新たな価値を創造する「共創」、ステークホルダーから理念や魅力への共感を獲得する「ブランディング」についてご講演いただきました。

第2部では、小柳津氏をコーディネーターに株式会社フジテレビジョンで数々の有名ドラマの演出を手掛ける葉山浩樹氏、漫画家の七島佳那氏、そして、八重樫理事長をパネリストとして、それぞれの立場から具体例を交えて、共創とブランディングをテーマにクロストークを行いました。



Report 06

第3回例会(創立例会) 開催のご報告

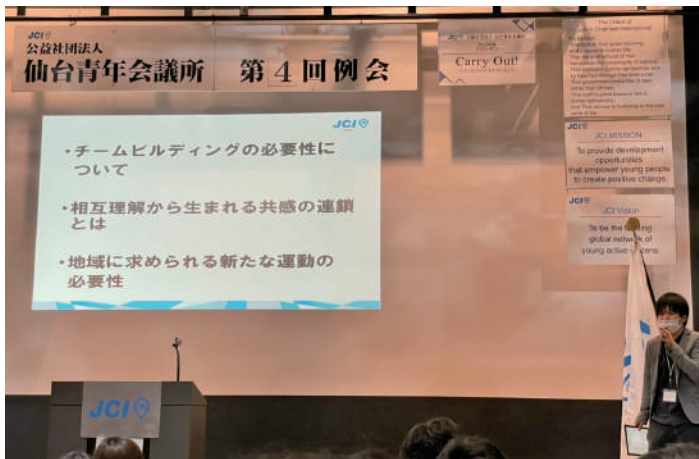
3/18



3月18日、第3回例会(創立例会)を開催いたしました。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされたため、3年ぶりの開催となりました。

当日は数多くの仙台青年会議所先輩諸兄姉の皆様にご参加いただき、例会を通して、これまで築き上げた歴史を現役メンバーへ伝える機会としました。

2022年に開催したASPAC(JCIアジア太平洋地域会議)仙台大会から20年が経ち、大会誘致から開催に至るまでの当時の報告ビデオを視聴、仙台青年会議所の歴史を紐解くクイズ企画も開催し、当時の思い出や事業開催に至る苦労など、歓談を通して先輩方と交流することで、現役メンバーにとって大変貴重な例会となりました。



4月14日、第4回例会(4月例会)～仲間との結束力を高めよう!強い組織となるために～を開催しました。例会では、アドバイザーとして謎杜プロジェクト代表の根本聡一郎氏をお招きし、チームごとに分かれて体験型謎解きゲームを体験しました。急造の6人チームで1つの「謎」を解く体験をする中で、各自のスキルや能力、経験を最大限に発揮し目標を達成するためのチーム作りを学ぶことができました。また、「謎」という共通の「課題」を解決する作業の中で、連帯感、達成感を得ることができ、組織の結束力を向上する貴重な機会となりました。



5月14日、15日、第38回仙台・青葉まつりにて自主警備を行いました。

定禅寺通りが綺麗な新緑で輝く中、3年ぶりの青葉まつりとして伊達古式火縄銃演武や本まつり巡行が行われるなど様々なイベントが催され、多くの市民と観光客で賑わいました。本まつり巡行では、八重樫理事長が伊達成実公として甲冑に身を包み、仙台青年会議所メンバーが杜の都親善大使を乗せた山車を引いて定禅寺通りを巡行しました。

滞留や密が生じないように注意しなければいけないポイントが多かったですが、メンバー一丸となって警備に取り組み、大きな事故が起きることなく第38回仙台・青葉まつりが無事に終了しました。



Report 09

第5回例会(5月公開例会) 開催のご報告

5/22



5月22日、仙台メディアテークにて第5回例会(5月公開例会) Take action～私のミライは私が決める!～を現地とオンラインのハイブリットで開催いたしました。

第1部では、「君が動けば世界が変わる!」と題し、露木志奈氏より、子どもたちに広い視野と強い意志を持ってもらうため、これまでの生い立ちや活動に関するお話の中で、行動を起こすに至った経緯や、行動によって人生がどのように変わったのかについてご講演いただきました。また、第2部では、「私が創るミライへのミッション」と題し、子どもたちに自身の夢を書いてもらい、その夢の実現のためには何が必要かについて、JAXA職員の山下遼太郎氏より、実体験を踏まえご講演をいただきました。



Report 10

JCI ASPACにて

「全国各地の魅力PR動画」最優秀賞を獲得しました

5/28



5月28日、2022 JCI ASPAC 堺高石大会のJAPANナイトにて、「全国各地の魅力PR動画」最優秀賞を仙台青年会議所が獲得しました。

仙台青年会議所が応募した動画には、仙台青葉まつり、仙台七夕花火祭、仙台七夕まつり、仙台光のページェントなどの仙台の風物詩や、仙台の四季折々の魅力が詰まっています。



Report 11

第6回例会(6月公開例会) 開催のご報告

6/18



6月18日、第6回例会(6月公開例会)「～カギを握る新世代! 未来の仙台(まち)をデザインするのはあなたです!～」を開催しました。

本例会は3部構成で開催し、第1部にアイリスオーヤマ株式会社の大山晃弘社長より仙台の魅力や若者を活かした企業づくり、まちづくりについて仙台を牽引してきた実績をもとにご講演いただきました。

第2部では、ヤマガタデザイン株式会社の山中大介社長より、地域課題をビジネスで解決し、人づくり、連携づくりなどを様々な視点で講演いただきました。最後に、第3部として当委員会が本年度実施するまちづくり事業の紹介をさせていただきました。



Report 12

第52回宮城ブロック大会in泉 開催のご報告

6/25・26



6月25日、26日、宮城ブロック大会が七北田公園をメイン会場として開催されました。本大会は、「イロトリドリ～多様な価値の源泉となれ～」を大会スローガンに3年ぶりの実地開催となりました。

泉青年会議所の活動エリア内の食や文化を伝える「ガーデンマルシェ」、実際にまちづくりのために活動している団体によるステージ発表及びブース出展による「みやぎまちづくりフェア」、他団体と協働しての事業構築の目的や実施に至るまでの過程について学ぶ「事業フォーラム」や最適な組織運営に繋げる学びを得る「組織フォーラム」など、多くのファンクションが開催され、宮城県内のJCメンバーが一堂に会し交流を図りながら絆をより深める機会になりました。



Report 13

第7回例会(7月前半例会例会)開催のご報告

7/13



7月13日、第7回例会(7月前半例会例会)を開催しました。本例会では、アビリティトレーニング木下晴弘様を講師に迎え、「幸せな人生を送るために」をテーマにご講演いただきました。

講演では「認知心理学」から、物事の原因や解決に向け、本質を見抜き、物事の本質を認知する大切さを学び、課題解決への心構えや主体的にまちづくりに取り組む意識の向上に繋がる見識を深めることができました。

今回の例会を通しJC活動、JC運動への理解を深められたことを契機に、それぞれに与えられた職務に真摯に向き合い、今後さらに地域の課題解決に向けて邁進して参ります。



Report 14

サマーコンファレンス2022 開催のご報告

7/16・17



7月16日、17日、日本青年会議所主催「サマーコンファレンス2022しくみの数だけ、幸せがある」が横浜にて開催されました。

サマーコンファレンスは毎年、年間の運動を広く発信するために各界を代表する著名な有識者をお招きし、様々なジャンルのファンクションが開催されており、本年度も16日に行われた経済フォーラム「新しい資本主義実現フォーラム～中小企業が変われば日本が変わる!～」では、日本青年会議所 中島土会頭と岸田文雄内閣総理大臣との対談が行われるなど、多くの学びのあるファンクションが行われました。



7月27日、第8回例会として、8月5日に3年ぶりに有観客にて開催する「第53回仙台七夕花火祭」に向けた警備・クリーンに関する説明を行いました。

仙台中央警察署の地域課課長である花釜隆弘様による講演や警備エリアごとの説明会を通じて、今年も市民の皆様に喜ばれる安心安全でクリーンな花火祭を実現するため、メンバー一丸となって全力で取り組むことを再認識しました。



第53回仙台七夕花火祭 街頭募金を実施いたしました。

今年で第53回目を迎える仙台七夕花火祭は、市民のみなさまのご協力があって長い歴史を紡ぎ、現在まで至っていることとお伝えし、市民の皆様より多くのご協力をいただきました。



©七島佳那



8月5日、第53回仙台七夕花火祭を開催しました。

3年ぶりの有観客での仙台七夕花火祭の開催にあたり、市民の皆様、関係者の方々、ご協賛をいただきました皆様に感謝申し上げます。また、会場周辺の交通規制等に対して、ご協力をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

天気にも恵まれ、事故もなく無事に終了することができました。

本年は、16,000発の花火が仙台の夜空を彩り、ご来場をいただいた皆様にお楽しみいただけたものと思っております。

今後も、市民の地域を愛する心を高め、未来を切り拓く持続可能な仙台に向けた事業を展開して参ります。



Report 18

仙台サステナブルプロジェクト 立ち上げのご報告



仙台青年会議所は、産官学民と共に、持続可能な仙台(まち)の創造に向けて協議する場が必要と考え、「仙台サステナブルプロジェクト」を立ち上げました。

仙台サステナブルプロジェクトでは、SDGsの普及啓発及び推進を行っている団体の方々と共に、持続可能な仙台の発展を目指して活動しています。

本会議では、9月18日～25日に予定しているSDGs Weekの開催に向けて、有識者の方を交えて様々なアイデアや取り組み団体の情報共有をすることができました。



Report 19

2022年度 東北青年フォーラムin栗原 開催のご報告

9/3・4



9月3日、4日、日本青年会議所東北地区協議会主催の東北青年フォーラムが開催されました。東北青年フォーラムでは、東北6県の食・物産を販売する「たからいち」、フォーラムではSDGsを社業に取り込む方法を考える「SDGs推進セミナー」など、多くのファンクションが開催され、東北75の青年会議所メンバーが一堂に会し交流を図りながら絆をより深める機会となりました。会員拡大フォーラムでは、八重樫理事長がパネリストとなり、同じ悩みを抱えるメンバーに対して、組織としての意識付けや本年度の取り組みを共有しました。

また、地域に新たな価値を創造し好循環を生み出す優秀な運動として新たな価値創造プログラム優秀賞に仙台青年会議所主催の「第52回仙台七夕花火祭」が表彰されました。



Report 20

第10回例会(9月例会)開催のご報告

9/16



9月16日、第10回例会(9月例会)を開催いたしました。

第1部では、講師溝井伸彰氏をお招きし「OODA(ウーダ) ループ」について、基礎知識や経営課題・社会課題に取り組む際の活用方法などについてご講演いただき、第2部では、第1部で学んだ「OODA(ウーダ) ループ」を用いて、グループワークを行いました。

グループワークから「OODA(ウーダ) ループ」を振り返り、持続可能な仙台(まち)の発展には青年リーダーとしての行動力が必要であり、地域課題に取り組み続ける意識を高めるとともに、互いを尊重し、自らの価値観を広げることの重要性を認識する契機となりました。



Report 21

Carry out the dream in Sendai 開催のご報告

9/23



9月23日、小学生を対象に三井アウトレットパーク仙台港にて「Carry out the dream in Sendai」を開催いたしました。

本事業は、子どもたちに社会体験を経験してもらうために開催いたしました。

当日は、子どもたちが自身で考え出店した「お店屋さんブース」と、仙台の地元企業と子どもたちがつくった「企業ブース」、銀行、警察、放送局、広告店などの様々な「お志事ブース」を体験していただきました。

参加していただいた多くの子どもたちに、自分の夢に向かって行動に移すことの大切さを楽しく実行し学んでいただけたのではないかと考えております。



Report 22

SENDAI SDGs Week 2022

～未来を考える1週間～ 開催のご報告

9/18-25



9月18日から25日まで8日間に亘り、SENDAI SDGs Week 2022～未来を考える1週間～を開催いたしました。

仙台青年会議所として初めてとなる本事業の構築にあたり、関係各所をはじめとする仙台サステナブルプロジェクトの皆様、SDGsの普及啓発にご賛同いただいた多くの皆様にご協力をいただき実施に至りました。

8日間を通し10以上のステージファンクション、20以上のブース出店や展示にご来場いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

SDGsは2030年までのゴール達成を目指すものです。仙台青年会議所は、このゴール達成に向けて引き続き活動をして参ります。



Report 23

2022年度 第2回通常総会 開催のご報告

9/16



9月16日、仙台青年会議所2022年度第2回通常総会を開催いたしました。総会において2023年度理事長予定者を始め、次年度理事会構成メンバーの決定について満場一致にて可決承認されました。

2023年度理事長予定者として福重祐作君が承認され、仙台青年会議所2023年度体制がスタートを切りました。また、本総会では、2022年度事業報告もなされました。



Report 24

JCI副会頭デビット ルック氏 公式訪問

10/4



10月4日、2022年度JCIアジア太平洋地域担当副会頭 デビット ルック氏(JCIアイランド)が香港から来仙し、仙台青年会議所メンバーに、本年度のJCIの活動について講演をしていただきました。

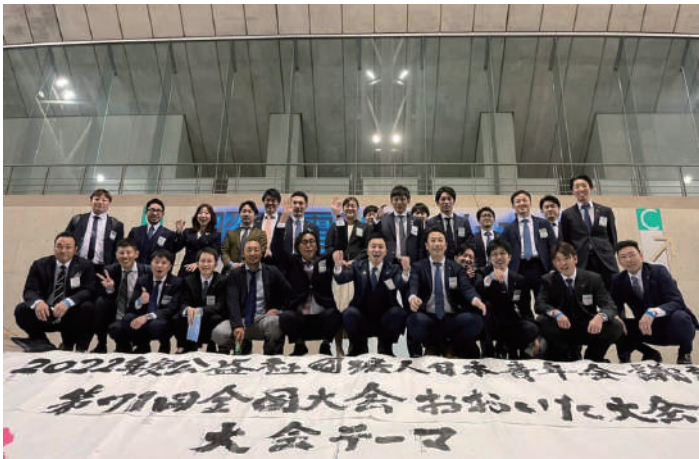
JCIアイランド(香港)とJCI仙台は、1994年に姉妹LOM締結をしており、今回はJCI副会頭としての訪問とはなりませんが、コロナ禍により実現できていなかった姉妹LOMメンバーとの交流と学びの機会となりました。



Report 25

第71回全国大会おおいた大会 開催のご報告

10/6・9



10月6日～10月9日、第71回全国大会おおいた大会が「愛を抱いて進め、JAYCEE!」をテーマとして開催されました。各LOMが構築する事業を現代から未来に繋ぎ、持続可能で多様性のある社会を実現するための運動が発信されました。また、多くのJCI仙台メンバーが出向しており、出向者支援を行うとともに、これまで活動を共にした卒業予定者22名に対し感謝の気持ちを伝えることができ、改めて全国大会の開催意義や目的を再認識する貴重な機会となりました。



Report 26

父親の育児参加促進につなげる ワークショップ・パパ座談会 開催のご報告

10/15



若者によるまちづくり「Sendai Future Generations」の事業として、父親の育児参加促進につなげるワークショップ・パパ座談会を開催いたしました。本事業では、月に1度 ワークショップを開催し、親子の遊び場・お出かけの目的として活用してもらい、お子さんの教育のためになる催しを実施しています。

また、ワークショップ後には「パパ座談会」を開き、育児をより楽しめるよう父親同士の交流の場を設け「ママ友」のように子育てについて意見交換のできる「パパ友」を作る場として活用していただく良い機会となりました。



Report 27

SFG事業 ゴミ拾い 開催のご報告

10/15



10月15日、若者によるまちづくり「Sendai Future Generations」の事業として、環境美化と体力づくりを促進するため、「ゴミ拾い」×「ウォーキング」を国際センター周辺にて開催しました。

道端や公園などに散乱する空き缶やたばこの吸い殻などのゴミの清掃を行いました。仙台青年会議所は、緑豊かな美しい「杜の都」で、市民一人ひとりが健康的な生活を送れるまちの実現を目指しています。



Report 28

第11回例会（10月例会）開催のご報告

11/26



「SENDAI SDGs FORUM 2022～パートナーシップで仙台（まち）の未来を創る～」を開催しました。

第1部では、一般社団法人SDGsとうほく 紅邑晶子氏、みやぎSDGs Farm 畠山茂陽氏と共と振り返り、今後に向けた課題や展望についてディスカッションを行いました。第2部では、【即実践できるSDGs ベガルタ仙台から学ぶ！SDGsの浸透とパートナー連携】と題して、株式会社ベガルタ仙台 代表取締役 佐々木 知廣 氏と八重樫理事長のトークセッションを行いました。第3部では、環境省東北地方環境事務所様及び株式会社ベガルタ仙台様と仙台青年会議所のSDGs パートナー宣言書の調印を行いました。



Report 29

第12回例会(11月例会) 開催のご報告

11/17



「地域にこそ未来がある～呼び覚ませ!Pride of a Leader～」を開催しました。

講師として、株式会社日本総合研究所首席研究員 藻谷 浩介 氏をお招きし、「地消地産」をテーマにご講演いただきました。

本例会は、講師の方をお招きしてメンバー向けに行う例会としては、本年度最終のものとなりました。藻谷氏からは、経済的な観点から、過去と現在を数字で可視化し、世界の他の地域との比較の中で現在の仙台の課題を浮き彫りにしたうえで、私たちが青年経済人として仙台の経済発展のために行うべき「地消地産」について、ご講演いただきました。



Report 30

第13回例会(12月例会) 開催のご報告

12/1



第1部に仙台青年会議所内褒賞授与式、第2部に本今年度理事長交代式、第3部に卒業証書授与式を実施する3部構成にて実施いたしました。

第1部の仙台青年会議所内褒賞授与式では、2022年度の青年会議所活動において、理事長所信を良く理解し積極的に活動した個人、組織に褒賞を授与しました。

第2部の本今年度理事長交代式では、2022年度理事長八重樫司君から2023年度理事長予定者福重祐作君へプレジデンシャルリース及び理事長バッジの引き継ぎを行いました。

第3部の卒業証書授与式では、卒業を迎えるメンバーを祝して卒業証書と記念品を授与し、これまでの活動の軌跡を称える卒業式を執り行いました。



2022年度は、入会時期を3期に分け募集を行いました。

組織全体で取り組む会員拡大を実現するため、メンバーに現状の危機感を感じていただくとともになぜ拡大をしなければいけないのかを理解していただき、どのような手法で拡大を行うのか等、拡大意識の向上に向けたセミナーを毎月行いました。

現状の問題点、改善案、進捗状況の共有を行うことで、組織拡大の連絡基盤を構築することができました。

先輩諸兄姉のご協力もいただき、52名の新入会員を迎えることができました。

本年の新入会員募集は終了しましたが、仙台青年会議所は、引き続き新入会員の募集を継続して参ります。

Report

公益社団法人 仙台青年会議所

2022年度 事業報告





公益社団法人 仙台青年会議所

2023年度 理事長予定者

第72代 理事長予定 **福重 祐作**

略歴

株式会社福重企画 代表取締役社長

JC歴	【仙台青年会議所】		【出向】
2015年	JCI仙台入会 会員開発委員会	委員	2017年 JCI日本 JCI関係委員会
2016年	事務局	次長	幹事
2017年	七夕花火祭特別委員会	幹事	2020年 JCI日本 東北地区 宮城ブロック協議会
2018年	思いやり溢れる仙台(まち)創造会議	副議長	ブロック大会担当
2019年	総務室 総務委員会	委員長	2021年 JCI日本 ユーラシア共創委員会
2020年	事業室	室長	委員
2021年	副理事長		
2022年	専務理事		

2023年度スローガン Take a step

～未来を想い、未来を描く～

公益社団法人仙台青年会議所2023年度の理事長の職をお預かりすることとなりました福重祐作と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は、同年代のネットワークと様々な情報を得る目的で2015年に仙台青年会議所に入会し、一個人、一企業ではなし得ることが難しい事業を数多く展開している青年会議所の活動に魅力や価値を感じています。

事業を構築する中で、地域の課題解決には今何が必要かということの協議を重ね、「まちづくり」「ひとづくり」に対して真摯に向き合い、71年間の歴史を紡いできました。

8年間のJC活動の中で、自分以外の誰かのために誠心誠意尽くしている青年会議所メンバーに心を動かされ、これまで地域のリーダーとして青年会議所を作ってきた先輩諸兄姉の想いを受け継ぎ、より良い地域を目指して活動を続けていく必要を感じています。

昨今、新型コロナウイルスの流行により社会環境や日常生活は大きく変化し、外出自粛やテレワークの普及からデジタル化や働き方改革が推進され、新しい生活様式への対応が急速に進んでいます。いつの時代も私たちだからこそできる運動とは何なのかを考え、次なる一步を踏み出すことが重要であると考えています。

2023年度は、変化の激しい時代においても新たな一步を踏み出してほしい、小さなことでもいいので新たな挑戦をして欲しいという想いから、「Take a step～未来を想い、未来を描く～」というスローガンを掲げており、市民と共に未来を想い描き、しあわせを共感できる仙台の実現に向けた運動を展開して参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



SENDAI

公益社団法人 仙台青年会議所